



会長 川嶋 潤 幹事 鈴木 みづえ 会報・公共イメージ委員長 田嶋 景姫 編集者 田嶋 景姫  
 事務局／〒371-0847 前橋市大友町1丁目2番11号ロイヤルチェスター前橋内 TEL. 027-252-7907 FAX. 027-252-7926  
 E-mail maebashi-higashi@rid2840.jp URL <http://www.rid2840.jp/maebashi-higashi> (10時～16時 休日 毎週火曜日)

## 2026年 2月 19日 (木) 第2256回 例会報告

点 鐘 川嶋 潤 会長  
 ローターソング 我等の生業  
 4つのテスト

会長の時間 川嶋 潤 会長



皆さんこんにちは。年が明け例会も落ち着いてきました。この時期になると会長の時間を長く取ってもらえるのですが、申し訳ないことに今日も何も準備をしないままお話をさせていただきます。

例会が忙しい時期には話したいことがたくさんあるのですが、落ち着いてくると話すネタがないと。先ほど話していたのですが、ロータリーの例会においてある程度自分の好きなことを話せるのは会長か卓話者しかおらず、この会長の時間を大切にしなければいけないと感じております。そんな中で頭に浮かぶのはマーフィーの法則です。

皆さん嘉門達夫というか歌手をご存じでしょうか。「鼻から牛乳」で一世を風靡した歌手です。昔好きで毎日のように聞いていたのですが、彼の1曲に「マーフィーの法則」という曲があります。

一部歌詞をご紹介しますと

「成功するときにはツキがある 失敗したときには原因だけが残る

疲れて喋りたくないときに乗ったタクシーの運転手は話好きである

自分の欠点はわかっているが他人に指摘されると腹が立つ

すべての解決は新たな問題を生む

一緒にいるのを見られたくない人と一緒にいる時ほど知っている人に出くわすものである

人生とは前向きに進むしかないが後ろ向きにしか理解できないものである」

そして最後にこう締めくくられます

「絶好のチャンスは最悪のタイミングでやってくる」

というように、私たちはいつでもチャンスをつかめるように心の準備だけはしておかなければいけないと教えられているような気がします。いつチャンスが訪れるかはわかりません。私は今チャンスが来ているような気がしていますが、乗り遅れないよう準備をしておきたいと思います。

幹事報告 鈴木 みづえ 幹事



みなさん、こんにちは(\*^^\*) みづえ幹事の幹事報告です。

1)『ハイライトよねやま』を各テーブルに配布しています。ご確認をお願いします。

2)今年も『抜萃のつづり』が東京ロータリークラブ会員のクマヒラ・ホールディングス会長熊平様より届いております。全国の団体・企業・個人に45万部を無料配布しているとのこと。会員BOXに入れましたので、お帰りの際、事務局にお立ち寄りいただき、お持ち帰りください。

3)「国際ロータリー第2840地区ラジオCM放送」についてのお知らせが、竹中ガバナー、公共イメージICT推進委員長前田様より届いております。エフエム群馬「news ONE」「WAI WAI Groovin'」でCM放送が行われますので、機会があったら聴いてください。また「ロータリーってこんな活動をしているんだ」と周囲の方々にもご紹介いただけましたら幸いですとのことですので、皆さま、よろしく願いいたします。

2026/2/19

4)ロータリー囲碁同好会より「第24回RI台湾囲碁大会」のご案内が届いております。台湾大会へ参加される方で囲碁にご興味のある方は、事務局高野辺さんにお問い合わせください。

5)最後に3月28日(土)に開催される「IM」についてお願いです。現在10名の参加をいただいております。これから出欠を回覧しますので、まだ回答していない方はぜひ「出席に○」のご記入をお願いいたします。以上、幹事報告でした。ありがとうございました。

## 出席報告

	会員数	休会者	出席者	欠席者	補填者	率
本日	51(50)	1	29(4)	22		60.42%
前々回	51(50)	1	30(3)	21	5	74.47%

※特別会員A(補欠法人会員)出席者 0名・特別会員B 出席者 0名

## 委員会報告

奉仕総合委員会 高木 清成 委員長



3月20日(金・祝)に群馬会館ホールで開催される「あすなろ祭」が移動例会となります。当クラブが長年10万円の寄付を続けている、障害を持つ方々のための音楽と芸術の祭典であり、会員の積極的な参加をお願いします。

ニコニコBOX報告 大本 周平 委員

(順不同)



川嶋会長・鈴木幹事:原さんの卓話、楽しみにしています。

足立 進パストガバナー:原さんの卓話を楽しみにしています。

釘島伸博会長エレクト:原さんの卓話に感謝して!

大本 計馬さん:原 拓也さんの卓話を大変楽しみにしています!!

小山京子さん:原さんの卓話を楽しみにしています。

大本周平さん:原さんの卓話、楽しみにしております。

## 新入会員卓話

◆原 拓也 会員



2025年4月入会の原拓也と申します。自己紹介と共に、私が行っている活動を紹介したいと思います

私は、1971年生まれの54歳 前橋に居住しており、妻と子供が2人いて、上が男、下が女の子です。とは言っても子供は二人とも東京に就職をして群馬に帰ってくる様子もありません。特に娘は心配ですが、東京でOLがしたいと言う希望を叶えて頑張っているようです。

過日、娘の会社がファミリーデイというイベントを企画した事があったので参加して見学してきました。これは休日に会社内を見学でき、労働環境を確認できるイベントだったのですが、麻布台ヒルズという立地もさることながら、事務所内には個人のデスクもなく、観葉植物にあふれ、ソファーやカウンターといった配置で眺望もすばらしく、ひとことで例えるなら、カフェでした。社員はノートパソコンを持ち、おの好きな空間で業務を行っているようでした。時代の最先端の労働環境はここまでの整備をしていることに経営者としても考えさせられる体験でした。

一方で、娘にはGターンを進める事を諦めた複雑な心境でした。また先日、お取引先の金融機関の方が、会社の取り組みとして中学生に職業体験の場を設けている旨のお話があったので、趣旨は?と尋ねると、子供たちが将来成長した時に群馬にも素晴らしい企業がある事を記憶してほしいとの回答がありました。活動自体は大変素晴らしい事だと思うのですが、会社側がもっと労働環境の整備をしていかないと少子化の時代に突入した現在、そしてこれからの未来では働き手の確保は困難になっていく様に感じ、危機感さえ覚える感覚になりました。現状維持はマイナスと捉え、様々な事にチャレンジや変化をつけて社業にも取り組んでいかなければならないと感じました。

話は少し変わりますが、このクラブの入会式でも推薦者の大本パスト会長にご紹介して頂いた通り、現在前橋市内の東小ウィングスという少年野球チームでチーム代表を務めさせて頂いております。

2026/2/19

子供2人が、選手としてお世話になった7年間は保護者として、子供が卒団してからはチーム代表として11年間、計18年間良き指導者・良き仲間にも恵まれ、少年野球活動のお手伝いをさせて頂いておりますが、実は私、野球経験がありません。小・中・高とサッカーに夢中になり、高校は帝京高校サッカー部に所属し、日本一を目指し練習に明け暮れていました。素晴らしい才能あふれる先輩達に沢山の刺激を受け、自分もあーなりたいたいと思い頑張りましたが、結果は高校3年時の高校サッカー選手権では、皆さんの予想通りスタンドからの全力応援で幕を閉じました。

新入部員時には100人いた同級生が卒業時には13人しか残っておりませんでした。それでも、あの地獄の様な生活を共に乗り切った同級生は今でも良き理解者として交流が続いております。

そんなスポーツ歴だったものですから当然息子にもサッカーをやらせたく、幼稚園児のころから日本代表戦・Jリーグ・高校サッカーなど、様々な試合を観戦してきたのですが、息子が小学3年生になったところで、そろそろどこかのクラブチームに入部させようと思った時、事件がおこりました…。

息子から、お父さん僕やりたい事があると… 私は初め、やりたいところがあると思ひ、どのポジション？ フォワードか？ まさかキーパーか？ などと聞き返しましたが、返ってきた言葉は、びっくり仰天です。僕、野球をやってみたい。との言葉が返ってきました。キャッチボールすら、したことないのに…

まじか、と思ひ悩みましたが自分がやりたい事をするのが一番だという結論に至り、息子には「お父さんも真剣に野球に向き合うから、お前も真剣に野球に取り組み」という約束をして、オヤジの少年野球生活が始まりました。

野球を勉強していくと、チーム競技ですが個と個の対戦がある場面やサインプレーの面白さ、はたまた監督が選手と同じユニフォームを着ている… ほかのスポーツではありえない事が色々ありました。(調べたところ当初、野球には監督という立場の人がおらず、選手自らが考え行動していたところからユニフォーム姿が残っているといわれ、ヤクルトの古田が選手兼監督時代に「代打、オレ」はまさに野球の原型だったと思ひます)そんな、他のスポーツではあり得ない所など、野球の魅力にハマっていきました。

うちのチームの目的は「挨拶・返事ができる子供に育てる」です。「勝つ野球」なのか「楽しむ野球」なのか、どちらが正しいか、永遠のテーマに日々頭を悩ましておりますが、「楽しみながら勝てる野球」に少しでも近づける様、大本周平監督と共に活動を続けております。

しかし、ここでも少子化の波が押し寄せておまして、前橋市内でも18年前と比較して、41チームから31チームへ10チームも消滅や休部を余儀なくされ、現在活動しているチームも皆、最少人数での活動を行っているのが現状です。少年野球はクラブチームではなくスポーツ少年団なので、どうしても保護者の協力が必要になることが多いため敬遠されがちですが、各当番など、できるだけ簡素化または廃止し、負担軽減策を講じて様々な取り組みをして部員勧誘を行っておりますが、なかなか部員増につながらないのが現状です。

時代は変わり、指導方法や選手への接し方、また保護者への接し方など様々な変化を求められる時代にはなりました。川嶋会長が掲げたクラブテーマ「不易流行」まさに今、少年野球にもそのような取り組みが必要と考えております。

スポーツ少年団という枠にとらわれず、皆様良いアイデアなどありましたらご教授頂ければ幸いです。

私の恩師でもあります 元帝京高校サッカー部監督、小沼先生も現在の学生スポーツは不易流行という考え方を取り入れないと、立ち行かなくなるという書籍を一昨年出版しました。

指導者として感銘を受ける内容が盛りだくさんで、当時教えていただいた、3つの心を持ちなさい

- 1、闘争心 勝負のときは闘う気持ちを表に出しなさい
- 2、平常心 常に冷静に自分を見られるようにしなさい
- 3、感謝の心 携わっていただく全ての人・物に感謝の気持ちを忘れてはならない

と、今もお、風化することなく語っておられました。

OB会で何冊か購入させられましたが、在庫が切れてしまったのでご興味のある方はアマゾンにて1870円で販売しておりますので、ご購入宜しくお願い致します。

また今夜は野球部会の会議と新年会との事で、参加を予定しておりますが、野球部会の皆さん、そんなこんなで野球未経験者ですみません。でも夜は左利きですので、今夜は大丈夫です。

結びとなりますが、今日、明日と県内の公立高校の入試日です。教え子達に「サクラサク」が届くようエールを送りまして言葉整いませんが、本日の会員卓話とさせて頂きます。

ご清聴ありがとうございました。

